平成30年度事業報告書(案)

法人本部

各事業・事業所について

- ○生活介護事業(日中一時支援事業含む)
- ○共同生活援助事業
- ○居宅介護・訪問介護事業等

社会福祉法人きまもり会 平成30年度事業報告

【法人本部】

社会福祉法人制度改革から2年目を迎え、これまでの理事会の在り方と評議員会の在り方で 戸惑う部分も感じられたが、新しい制度をしっかりと見定めつつ事業運営ができていたように 感じる。

事業活動に関しては、赤字になる事業はなく全般に安定しているが、ヘルパーステーションに関しては大きく躍進し、運転資金に関して本部及び愛歩からの繰り入れがあったものの、その繰り入れを戻しても黒字転換となった。

福祉業界に関しては慢性的な人手不足が叫ばれて久しく、当法人としても例外ではなく特に 男性職員の不足については入れ替わりなどもあり厳しい状態にある。反面、女性に関しては常 勤、非常勤に関わらず長く勤めていただいており、利用者への理解や支援において一定水準以 上のものを提供できているといえる。しかしながら、やはり新規事業の参入に関しては現状の 人手不足の状況では運営に支障が出ることが予測され、特に夜間支援の必要となるグループホ ームの開設については、多くの要望がある中その一歩が踏み出せない状況である。

職員の質の向上という部分では、年2回の職員研修を行い、利用者の特性の理解や権利擁護、 虐待の防止、差別の禁止等を学んでいただいた。研修については、内部研修にとどまらず30 年度は日進市自立支援協議会主催の外部講師による研修で法人職員が参加し他の法人・事業所 と集い識見を深めることができた。今後も内部研修含め外部への研修にも積極的に参加できる よう奨励していきたい。

1. 理事会・評議員会の開催状況

「理事会]

平成30年度 第1回

〈第66回 理事会〉

提案書送付日 平成30年5月2日(水)

理事会の決議があったとみなされた事項の内容

第1号議案 平成29年度第二次補正予算【案】について

決議事項を提案した者

社会福祉法人きまもり会 理事長 石川博夫

理事会の決議があったとみなされた日

平成30年5月11日(金)

議事録作成に係る職務を行った者

社会福祉法人きまもり会 業務執行理事 興梠精視

平成30年度 第2回

〈第67回 理事会〉

招集通知 平成30年4月20日(金)

開催日時 平成30年5月24日(木)13:30から14:40まで

開催場所 愛歩 会議室

出席理事 石川博夫 田中八隆 近藤充子 山田誠子 眞野節子 興梠精視(事務局)

欠席理事な し出席監事安部今日子欠席監事山田達巳

決議に特別の利害関係を有する理事 な し

議 事 第1号議案 平成29年度事業報告【案】について

第2号議案 平成29年度収支決算報告【案】について

第3号議案 平成29年度監事監査報告について

第4号議案 社会福祉充実残額について

第5号議案 パートタイム職員就業規則変更について

平成30年度 第3回

〈第68回 理事会〉

招集通知 平成30年11月2日(金)

開催日時 平成30年11月22日(木)13:30から14:30まで

開催場所 愛歩会議室

出席理事 石川博夫 田中八隆 近藤充子 眞野節子 興梠精視(事務局)

欠席理事 山田誠子

出席監事 山田達巳 安部今日子

欠席監事 な し

決議に特別の利害関係を有する理事 な し

議 事 第1号議案 第46回評議員会開催日時・開催場所及び議題・議案について

第2号議案 第69回理事会開催日時・開催場所及び議題・議案について

第3号議案 愛歩及びモチロホームにおける

管理者及びサービス管理責任者の変更について

報告事項 ○理事長及び業務執行理事による職務の執行状況の報告

○日進市社会福祉協議会における既存の福祉サービス事業(老人デイサービス事業および基準該当生活介護事業)の事業移管について

○愛歩での食事形態の変更について(追加)

平成30年度 第4回

〈第69回 理事会〉

招集通知 平成31年1月18日(木)

開催日時 平成31年3月14日(木)13:30から15:15まで

開催場所 愛歩 会議室

出席理事 石川博夫 山田誠子 近藤充子 眞野節子 興梠精視(事務局)

 欠席理事
 田中八隆

 出席監事
 山田達巳

 欠席監事
 安部今日子

決議に特別の利害関係を有する理事 な し

議 事 第1号議案 平成31年度事業計画【案】について

第2号議案 平成31年度収支予算【案】について

第3号議案 第70回理事会開催日時・場所並びに議題・議案について

第4号議案 第47回評議員会開催日時・場所並びに議題・議案について

報告事項 ○理事長及び業務執行理事による職務の執行状況の報告

〔 評議員会 〕

平成30年度 第1回

〈第45回 評議員会〉

収集通知 平成30年4月20日(金)

開催日時 平成30年6月14日(木)13:30から14:30まで

開催場所 愛歩 会議室

出席評議員 堀之内秀紀 田中祐三 成岡哲郎 加藤栄一 福岡 隆

志水佳三 木谷早苗 浅井里美

欠席評議員 な し

出席監事 山田達巳 安部今日子

欠席監事 な し

出席理事 石川博夫(理事長)

事務局 興梠精視(業務執行理事)

決議に特別の利害関係を有する評議員 な し

議 事 第1号議案 平成29年度事業報告の承認について

第2号議案 平成29年度収支決算報告の承認について

第3号議案 平成29年度監事監査報告について

第4号議案 社会福祉充実残額について

報告事項 ○理事長及び業務執行理事による職務の執行状況の報告

○日進市社会福祉協議会における既存の福祉サービス事業(老人デイサービス事業および基準該当生活介護事業)の事業移管について

○愛歩での食事形態の変更について

平成30年度 第2回

〈第46回 評議員会〉

招集通知 平成31年1月18日(金)

開催日時 平成31年3月28日 (木) 13:30から15:10まで

開催場所 愛歩会議室

出席評議員 堀之内秀紀 加藤栄一 成岡哲郎 志水佳三 福岡隆 浅井里美

欠席評議員 田中祐三 木谷早苗 出席監事 山田達巳 安部今日子

欠席監事 な し

出席理事 石川博夫(理事長)

事務局 興梠精視(業務執行理事)

決議に特別の利害関係を有する評議員 な し

議 事 第1号議案 平成31年度事業計画【案】について

第2号議案 平成31年度収支予算【案】について

報告事項 ○理事長及び業務執行理事による職務の執行状況の報告

2. 苦情解決第三者委員会開催状況

平成30年度 第1回

〈第17回 苦情解決第三者委員会〉

招集通知 平成30年8月28日 (火)

開催日時 平成30年9月28日(金)10:00から11:15まで

開催場所 愛歩会議室

出席者 第三者委員 山本正和 谷津優二

きまもり会 石川博夫 興梠精視 森田沙弥香

議 題 平成30年度上半期の苦情・要望報告

・工賃改定による苦情

- ・日中活動中における利用者のけがについて
- ・利用者からの日々の要望、苦情について
- ・モチロホームでの服薬管理についての苦情
- グループホーム建設についての要望
- ヘルパーステーション一会での苦情対応について

その他

- ・事業拡大を見据えての給食等の変更について
- ・モチロホームでの利用者対応について

〈工賃改定について〉

工賃改定による苦情に関しては、原材料費の値上がりや、利用者人数が増えたことに加え、利用者一人ひとりの作業への姿勢など含めて査定をやり直すこととした。その経緯についてはその都度説明してきたが、工賃が下がることについては不満に感じた方がいた。再度、詳細に説明の上納得していただいた。わかってはいるが、工賃が下がることについては感情が入ってしまったようだ。

〈利用者のけがについて〉

日中活動中のけがについて、本人の障害特性もあり、こだわり行動が多分に出てきているさなかでのけがであった。職員の認識としても報告の遅れなど甘い部分があり、保護者への報告、対応が後手に回ってしまった。保護者には、本人の姿が場所や場面によってもかなり変化があることをお伝えするとともに、あくまでも予測ではあるが傷がついた状況を説明し謝罪を行いご納得いただくことができた。

〈利用者からの苦情〉

利用者からの日々の要望や苦情については、支援者側の利用者に関する見立てが甘く、本人の理解度や発達年齢についても十分な把握ができておらず対応に苦慮することとなった。発達障害のある方の独特な理解の仕方や、見た目や言動からするとわかりにくいが、かなり幼さを残した部分などを支援者側が把握して対応できれば、もう少しもめることなく治まったように感じる。最終的には当事者同士よりも、間に他の支援者が入ることで驚くほど簡単に落ち着いていくことができた。支援者には会議を通じて、客観的な意見を多数出し合い、今後の対応に取り組むことができた。

〈服薬管理について〉

服薬管理の苦情というよりは注意を受けた内容であった。他施設で支援者業務を行っている 保護者からで、服薬の抜けがあったことをお伝えいただいた。グループホームでの出来事であ ったので、それぞれの世話人に再度服薬のチェックと薬の保管場所の統一をお願い致します。 徹底してもらった。

〈グループホーム建設について〉

グループホーム建設については、保護者からは強い要望があるが、福祉業界全体での人手不足の現状を考えると難しいものがあるものの、法人としては前向きに検討していることを伝えている。

〈ヘルパーステーションでの対応〉

ヘルパーステーション一会での苦情等の対応については、日々何かしらの細かい要望等はあるようだが、その都度利用者やケアマネージャー、ヘルパーからも連絡が入り、丁寧な対応をしており、大きな苦情とはなっていない。

1. 総括

【愛歩 生活介護事業】

30年度は4月1日時点では新規入所者3名を含め37名でのスタートとなったが、30年10月より疾病のため利用者1名が入院となり、そのまま年度末には退所となり36名となる。職員配置に関しては、30年5月に1名の男性職員が退職し、ヘルパーステーションより異動した職員も31年2月に退職となる。また、30年10月より女性職員1名が病気療養のため休職しており、回復のめどが立っていない状態である。ただし、常勤換算では職員数は満たしており現場での職員不足感は否めないものの運営に支障をきたす職員配置とはなっていない。利用者に関しては、行動障害のある利用者も複数をいるものの、利場での対応も適切に行っ

利用者に関しては、行動障害のある利用者も複数名いるものの、現場での対応も適切に行っており大きな事故等も起こることなく、比較的安定した状態で生活介護事業を行っている。

また、生産事業としてはこれまでのパン工房に加え、2月より給食から弁当に切り替え、厨房を製造場としてお菓子工房をスタートさせた。お菓子事業に関しては、日進市大学連携事業の一環として日進市のお土産品として各紙に取り上げていただき PR することができた。今後、工賃 UP の一助となるよう商品開発を進めるとともに生産力を高めていきたい。

今後の課題としては、男性利用者数に対して男性職員数が見合っておらず、引き続き職員募集をかけるとともに管理職・事務職含め総出で現場対応にあたっていく必要がある。

利用者に関しては、就労の意欲のある方や、就労に大きな可能性を持つ方などの就労支援にも力を入れていきたい。また、生産活動に加わることの難しい方には、余暇的な支援策も随時取り入れ生活の豊かさを得ることができるよう今後も工夫していきたい。

【モチロホーム 共同生活援助】

30年度は4月1日時点で6名定員のところ、5名の利用者でスタートしている。29年度は体験宿泊として、2週間単位で10名が利用したが、30年度は新規入所者選定のため、1カ月単位で7名の体験宿泊を行った。保護者からは「体験宿泊をすることで(ホームに入れる)決心がついた」等の声も聴かれ、それぞれの体験者固有の課題はあるものの良い機会を提供することができた。既存の利用者に関しても、愛歩で共に過ごしていることもあり体験者の受け入れは非常にスムーズに行われ大きなトラブルとなることもなく生活することができた。

共同生活援助については、20名の利用希望者がおり、新規開設を望む声も聴かれるが慢性的な人手不足が存在し、住居を建設しても事業を運営していくうえで大きな足かせとなり実現するまでには今まで以上の困難が予測される。

既存の利用者及び利用希望者とそのご家族には、現状の福祉の状況をありのままをお伝えしていくとともに、法人、利用者、保護者、そして地域社会が一体となって、親在るうちに障害のある方の未来を明るいものにしていきたい。

【ヘルパーステーション一会 居宅介護等(障害福祉)・訪問介護等(介護保険)】

28年度の開設から3年、日進市社会福祉協議会ふれあいヘルパーステーションとの事業統合から2年目を迎えた。これまでは赤字となってきていた事業であるが、障害福祉サービス及び介護保険の各分野の特色を活かし、利用者に対してもきめ細やかな対応を続けてきたことが功を奏し30年度では黒字転換となった。

介護保険分野では、管理者はじめサービス提供責任者が中心となり、所属のヘルパー、利用者、ケアマネージャー等とも密に連携し高齢の利用者の地域生活に貢献できている。また、事業移管に際しても、既存のヘルパーがこれまでと同じように利用者の元に派遣されていることが大きな安心感につながり継続した利用に繋がってきたように感じている。

障害福祉サービスでは、モチロホームの外部委託業者として利用者の支援に携わっている。これまで高齢の方の経験しかなかったヘルパーについても、障害のある利用者の対応にも徐々に慣れてきており、その地域生活を支えていただいている。また、男性ヘルパーを有する数少ない事業所の一つで、居宅介護だけでなく移動支援事業については利用希望者も多い。しかしながら、その男性ヘルパーの数が少なく、利用者の希望に沿うことができないことが現状である。

職務の性質上、職員の有給取得が難しい部分が多々あり、事業運営のための売り上げを上げることも重要ではあるが、それ以上に各職員が十分な休暇を取れるよう調整していくことが課題として残っている状態である。

2. 事業状況

【愛歩 生活介護事業】

- (1) 利用状況(平成31年3月31日現在)
 - 1)年齢層・性別

		性	計					
15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60 歳以上	男	女	
3	6	14	10	1	2	24	12	36

年齢分布としては、30 代から 40 代の中間層が約 66%となっており、平均年齢では約 36 歳となっている。50 代以上が 3 名ではあるが、そのうち 1 名が 65 歳を目前に控えており、かつ一人暮らしでもあるので、今後の地域生活についての検討が急がれる。

また、利用者の平均年齢の上昇に伴い、保護者の平均年齢も上がってきており、利用者を取り巻く環境の変化にも柔軟に対応していくことを考えていく必要が出てきている。

2) 障害支援区分

Ī			性	計					
	区分1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	男	女	
	0	1	3	15	8	9	24	12	36

障害支援区分については、昨年の利用実績から換算すると平均区分は約4.6となっている。 開設当初からの数年間は平均区分は約3.5となっており、適切な区分認定が行われていたとは 言えず、利用者の状態像からかけ離れていたものであったが、ようやく適正な区分に近づいて きたのではないかと感じている。

3)年間利用者数

a、生活介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人数	728	725	743	774	691	671	761	755	689	657	671	705	8,570
入院者数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	7
入所者数	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	36	
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

年間利用者数に関しては、利用者数の増加に伴い大幅に増えている。また出席率も高く、そのことが事業運営の安定に繋がっている。

利用者については入院者も出ており、加齢に伴う成人病等の発症など利用者の健康についてもこれまで以上に注意していく必要がある。

b、日中一時支援(公益を目的とする事業)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日進市	8	7	9	12	14	1	10	10	10	7	10	10	101
みよし市	18	16	14	12	15	14	13	3	2	3	4	1	115
合計	26	23	23	24	29	15	23	13	12	10	14	11	216

日進市の利用者では、職場実習の中高生を除くと、1名の方が継続して利用されていた。この1名は就労しつつ、心のよりどころとして愛歩に通われてきていた。

みよし市の女性1名は、以前より継続して通われておりパソコンの練習を行ってきたが、以前通われていたみよしの事業所でもう一度頑張っていくとのことでいったん利用を打ち切ることなった。また、男性1名は日中一時事業の利用であったが、10月から愛歩の生活介護へ移行したため減少となっております。いずれの利用方法についても、利用者本人の状態に合わせた利用となっており、日中一時支援の役割を果たせたように感じている。

(2) 作業実績

1)売り上げ

*()内は前年度増減比/(単位:円)

パン製造販売	喫茶	名刺作成等	内職	その他	就労事業収益計
$7,092,312 \\ (-482,976)$	$2,508,450 \\ (+490,645)$	$334,\!546 \\ (-158,\!100)$	1,176,540 (+96,244)	387,081 (+196,304)	11,498,929 (+142,117)

売り上げに関して、パンの製造販売に関しては、職員の負担軽減のため外部イベント等での販売を取りやめたり、販売先を減らしたことにより前年度に比べ減少している。反面、喫茶部門では前年度に比べ約25%の伸びがあり、愛歩の認知度が高まり顧客の増加があったものと考えられる。名刺等の作成に関しては、日進市役所の部署移動による部分が大きく、30年度は大幅な減少となっている。内職については一つひとつの単価が非常に安いにもかかわらず、約9%近く伸びているが、その分検査等による職員の負担が大きくなった。

2) 利用者工賃

*()内は前年度増減比/(単位:円)

平成 30 年度 工賃支給総額	最高工賃支給月額	最低工賃支給月額	平成 30 年度 工賃平均支給月額		
4,829,976 (+188,256)	28,520	2,040	約 11,180 (+480)		

利用者工賃については、新しい製品等も加わったことや、利用者人数も増えたことから工賃の見直しを行った。月ごとで出勤日数も変わるので同月の最高・最低工賃ではないが、利用者の働き方によって約26,000円の開きが出ている。

工賃の支給量を少しでも上げるため、31年度はパンの販売価格の改定を行う予定である。

(3)活動状況

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
4	2日:入所式 10日:愛歩協力会総会 28日:荒川工業(株)30周年記念パーティー
5	2日:もぐもぐタイム 25日:朗読会
6	16日:あじさいコンサート 24日:日進市身体障害者福祉協会スポーツ大会 26日:避難訓練
7	20 日:朗読会
8	1日:健康診断(笹本内科) 13~15日:夏季休暇
9	3日:総合避難訓練 15日:アイシンファミリーフェスティバル
10	19日: 朗読会 28日: あゆみまつり
11	
12	5日:避難訓練 22日:法人職員研修 25日:クリスマス会 28日:仕事納め&餅つき
1	11日:鏡開き 14日:成人を祝う会 15日:愛歩協力会新年会 25日:朗読会
2	1日:健康診断(名古屋公衆医学研究所)/節分行事
3	15 日: 朗読会 22 日: 保護者勉強会

2) 健康管理

- ・健康チェック (看護師/毎週火曜日:体温・脈拍・血圧等・体重測定)
- ・ 予防接種(笹本内科/インフルエンザ希望者接種)
- ·健康診断(年2回 笹本内科/名古屋公衆医学研究所)
- · 医師巡回指導(月1回 笹本内科)

3) 保護者との連携

- a、愛歩協力会総会および定例会への参加および各種行事において、密に連携を行ってきた。特に協力会での手作り、パン販売への協力など、班ごとに分担して行っていただいた。
- b、愛歩協力会定例会では折に触れ、法改正や社会福祉を取り巻く現状等をできる限りお 伝えしていくとともに、年度末にはサービスを利用する側として受給の仕組みや31 年度の年間予算について勉強会を行った。
- c、利用に関する相談や、個別の相談などを随時行った。

4) 職員の活動

- a、各種会議の開催
 - ①職員会議…日々の連絡事項、行事予定の確認、作業についての打ち合わせなど。
 - ②ケース会議…日々のケースに応じて随時執り行う。
- b、法人職員研修への参加(障害特性の理解、差別・虐待の防止について)
- c、知的障害者福祉協会・社会福祉協議会等が主催する研修会に参加
- d、日進市障害者自立支援協議会及び専門部会/日進市特別支援教育連携協議会/日進市 わたしのまちのしあわせづくり委員会/虐待防止ネットワーク会議等各会議への参加

【モチロホーム 共同生活援助(外部サービス利用型)】

- (1) 利用状況(平成31年3月31日現在)
 - 1)年齢層・性別

		年齢	性	計				
15~19歳	20~29歳	男	女					
0	0	4	1	0	0	2	3	5

2) 障害支援区分

			障害支	性	計				
区分1 区分2 区分3 区分4 区分5 区分6								女	
	0	0	0	1	3	1	2	3	5

モチロホームの入居者は、区分 4 以上の方で占められ、これに伴い 29 年度にスプリンクラーの設置工事を行った。ただし、スプリンクラー設置に頼ることなく火災・地震等の災害発生時の避難対策・訓練も併せて行っていく必要がある。

3)年間利用者数

a、共同生活援助(体験利用含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人数	123	123	152	151	118	148	151	152	119	106	141	154	1,638
入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入所者数	5	5	6	6	5	6	6	6	6	5	6	7	
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

入所者数について月ごとにばらつきがあるが、これは体験利用を行ったためで、それぞれ 4 週間の体験利用を行い、次年度の新規利用者の選定を行った。既存の利用者については、大きな病気やけが等もなく落ち着いて過ごせていた。

【ヘルパーステーション一会 居宅介護等・訪問介護等】

- (1) 利用状況(平成31年3月31日現在)
 - 1) 利用延べ人数(居宅介護等には同行援護含む、総合支援事業にはみなし・A型含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月
訪問介護	258	303	308	315	250	297	344
総合事業	149	106	110	107	106	113	125
居宅介護等	269	381	250	381	340	384	422
移動支援	209	141	121	119	83	106	124
合計	885	931	789	922	779	900	1,015

	11 月	12月	1月	2月	3月	合計 (延べ人数)
訪問介護	321	283	279	286	321	2,959
総合事業	115	105	105	109	112	2,281
居宅介護等	410	322	355	338	338	3,111
移動支援	128	98	112	83	96	899
合計	974	808	851	816	873	9,250

介護保険の訪問介護等については、利用者の入院などにも左右されるため数字としてはばらつきがあるが、月平均延べ利用者数は約250人となっている。日進市介護予防・日常生活支援総合事業については月平均延べ利用者数は約190人となっている。

次いで障害福祉サービスの居宅介護等については月平均延べ利用者数は約260人となっている。日進市・名古屋市・みよし市の地域生活支援事業の移動支援については、月平均延べ利用者数約118人となっている。

2) 職員の活動

- a、各種会議の開催
 - ①職員会議(週1)…正職員及び非常勤職員参加。連絡事項、行事予定の確認、利用者 についての注意事項等。
 - (月1) …正職員参加。売り上げ確認、各利用者及び非常勤職員への留意事 項確認、制度変更の際の確認など
- b、法人職員研修への参加(障害特性・高齢者の理解、差別・虐待の防止について)